

2014(平成26)年度事業報告
及び附属明細書

自 2014(平成26)年4月 1日
至 2015(平成27)年3月31日

107-0052 東京都港区赤坂1-2-2
公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

I 概 要

公益財団法人日本音楽財団は、2015年3月末現在、アントニオ・ストラディヴァリ等によって製作された世界最高峰の弦楽器を20挺保有している。これら弦楽器名器を次世代へ引き継ぐ役割を担っていることを念頭に、弦楽器の保守保全に関しては、世界屈指の指定楽器商による定期的なコンディションチェックや修繕による保全に加え、当財団による楽器保険の付保やATAカルネの発給による保全も行うなど、最善の方法を講じている。

ATAカルネに関しては、2012年9月にフランクフルト空港の税関にて当財団の楽器が押収されたことを受け、2012年10月よりすべての保有楽器にATAカルネを発給することとした。2013年11月21日、EU諸国の通関においては、一時的な滞在時の職業用具としての楽器の持ち込みは、場合によって申告が不要との規則改正が行われた。しかし、規則の運用詳細が不明なため、当財団としてはしばらくの間は引き続きATAカルネを発給し楽器の保全に努めることにしている。

当財団は、保有する楽器を、国籍を問わず一流の演奏家や若手有望演奏家に無償で貸与する「楽器貸与事業」を展開している。貸与希望者を毎年一般公募し、現在貸与中の演奏家からの申請も含めて、欧・米・アジアの有識者で構成された楽器貸与委員会で、申請者の活動実績やDVDによる演奏等が総合的に審議される。これにより、選定の透明性が確保され、本事業への信頼度が増している。

楽器の貸与者には年間5回まで、財団の演奏会に無償で参加することを義務付けて演奏会事業を推進している。本年度は、楽器貸与者による演奏会を東京で4回、大阪、兵庫でそれぞれ1回、また、「青少年のためのレクチャーコンサート」として昨年度に引き続き、秋田、白山、北九州の3都市で開催した。

演奏会事業の他に、音楽文化振興・普及のための助成事業（音楽助成事業）を推進している。本事業では、外部有識者で構成される事業運営委員会の議論を経て、助成事業募集に当たってのテーマ（柱）を決めて募集している。決定にあたっては事業運営委員会の審議を経ることで、透明性と客観性を確保している。

上記のような当財団の事業は、主に日本財団の助成金を得て運営・実施している。当財団としては、国内外における音楽文化の発展に寄与するため、今後とも、業務体制の充実を図りながら、事業を一層効率的に実施したい。

Ⅱ 事 業

日本音楽財団は、「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」を公益目的事業として掲げ、1.楽器の保守・保全、2.楽器の貸与、3.演奏会の開催、及び 4.音楽文化振興・普及のための助成を行った。

1. 楽器の保守・保全

当財団は、保有している弦楽器名器を永く次世代へ引き継ぐため、楽器の修繕及び調整内容等については慎重に検討し、名器の取り扱いに習熟している世界屈指の楽器商を指定し、保全に努めている。各貸与者に年4回定期的に、指定楽器商による楽器の状態チェックを義務付け、楽器商から当財団に対して、直接報告書(コンディションレポート)を提出してもらうことにより、状態の把握に努めている。さらに、年に一度は同じ目で楽器を見る必要があるという観点から、年4回の定期チェックの内1回は、英国(ロンドン)在住の当財団楽器アドバイザー Andrew Hill 氏のチェックを受けるようにしている。

貸与中の通常の楽器のメンテナンスや修繕費は当財団が全額負担している。これは世界的文化遺産といわれる弦楽器名器に関して、どこで誰がどのような修繕をしたかを「管理者」として把握し記録しておくためである。

また、保有の楽器は製作後約300年経過しており、経年による大規模な修繕が必要な楽器が出てきている。本年度は、del Gesu 1736年製 Violin “Muntz”(2013年4月～2014年10月)、並びに、Stradivaius 1708年製 Violin “Huggins”(2014年5月～6月)の大規模修理を実施し、保有楽器20挺のうち8挺の大規模修繕が完了した。このような定期メンテナンス以外の大規模修繕に対応するため、特定費用準備資金として楽器修繕費用の積立てを行い、資金を確保している。

当財団では楽器貸与事業開始当初より、各貸与者に対して、楽器保全の観点から、高温多湿な地域に持ち込むことや船舶等での演奏を禁止している。また、戦争地域及び治安が不安定な国への楽器持込みも禁じている。さらに、国家権力による楽器の没収の危険のある国については、貸与者の演奏活動に応じて随時指示を出して対応している。中国に関しては不安定要素が多いことから、招聘先が楽器の出入国を保障しない限り楽器の持込を禁じている。また、ロシアについては招聘先の保障だけでなく、入国時に税関にて必ず当財団発行の楽器証明書に押印してもらうことを義務付けている。

また、2012年9月にフランクフルト空港の税関にて当財団の楽器が押収されたことを受けて、2012年10月より、保有する全楽器にATAカルネを発給してきた。ATAカルネは、有効期限(1年)までに楽器を日本に再持込みができない場合は、有効期限が切れた時点で楽器が存在する国の輸入税の支払いを確約するものである。よって、演奏家にはATAカルネ更新のため、毎年来日することを義務付けており、当財団はカルネの更新スケジュール管理に細心の注意を払っている。

楽器保険については、楽器管理者の責任のもと全額を当財団が支払っており、2社の保険会社と契約し、より良い条件と料率で契約できるよう努力している。

2. 楽器の貸与

1) 第20回楽器貸与委員会

本年度の楽器貸与委員会は、下記のとおり実施した。

日 時 2014 年 10 月 25 日(土) 11:00～13:30
場 所 ドイツ国ミュンヘン市
Hotel Vier Jahreszeiten Kempinski 内会議室にて
楽器貸与委員 巻末別紙 3 のとおり
財団保有楽器 巻末別紙 4 のとおり
審議事項 現在の貸与状況及び貸与更新について
新規貸与申請について

会議結果

1. 貸与更新承認(15名)

Hagen Quartet(4名): Lukas Hagen(1st vn)、Rainer Schmidt(2nd vn)、
Veronika Hagen(va)、Clemens Hagen(vc)

Veronika Eberle、Sergey Khachatryan、Yuki Manuela Janke、
Arabella Miho Steinbacher、Svetlin Roussev、Alina Pogostkina、Ray Chen、
諏訪内晶子、五嶋 龍、石坂団十郎、Pablo Ferrández

2. 新規貸与

- 1) Suyoen Kim(vn)への新規貸与承認。
- 2) 2015年5月開催のベルギー・エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門優勝者への副賞として次回コンクールまでの3年間貸与されることが承認。

3. 短期貸与用楽器

特定の演奏会及びCD録音等のための6ヶ月以内の貸し出しを行うために、2挺を短期貸与用に充てることが承認された。

2) 楽器の貸与状況

2015年3月末現在における保有楽器20挺の貸与状況は、巻末別紙5のとおりである。

①～④ Stradivarius “Paganini Quartet”

貸与者 Hagen Quartet

1680年製 Violin Rainer Schmidt(スイス・ビンニゲン在住)

1727年製 Violin Lukas Hagen(オーストリア・ザルツブルク在住)

1731年製 Viola Veronika Hagen(オーストリア・ゼーキルヒェン在住)

1736年製 Cello Clemens Hagen(オーストリア・ザルツブルク在住)

貸与推薦者 内田光子(ピアニスト)

Franz Welser-Möst(指揮者)

Alexander Pereira(ザルツブルク音楽祭監督)

当該楽器を使用しての演奏 合計41回(聴衆約21,200名)

2013年7月5日より貸与しており、2015年8月31日まで(貸与期間2年2ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑤ Stradivarius 1700年製 Violin “Dragonetti”

貸与者 Veronika Eberle(ドイツ・ミュンヘン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

Sir Simon Rattle(指揮者)

内田光子(ピアニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計42回(聴衆約35,800名)

2009年5月11日より貸与しており、2015年8月31日まで(貸与期間6年4ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑥ Stradivarius 1702年製 Violin “Lord Newlands”

1. 貸与者 Ray Chen (アメリカ・フィラデルフィア在住)
同氏は2009年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”を2009年6月2日から2010年9月8日まで貸与(貸与期間1年3ヶ月)していた。その後、2012年4月11日より Stradivarius 1702年製 Violin “Lord Newlands”を貸与していたが、2014年6月19日より Stradivarius 1715年製 Violin “Joachim”に楽器を変更した。

2. 貸与者 Suyoen Kim (ドイツ・ベルリン在住)
貸与推薦者 Ana Chumachenco (ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)
Jan Latham-Koenig (指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計14回(聴衆約12,100名)

同氏は、2014年に開催した楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され、2015年1月20日より貸与を開始し、2015年8月31日まで(貸与期間8ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑦ Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”

貸与者 Andrey Baranov
貸与期間 2012年5月29日～2015年5月11日
当該楽器を使用しての演奏 合計56回(聴衆約46,700名)

同氏は2012年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールの優勝者であり、副賞として上記期間約3年間、当該楽器を貸与した。

⑧ Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”

1. 貸与者 Vilde Frang (ノルウェー・オスロ在住)
貸与推薦者 内田光子(ピアニスト)
Esa-Pekka Salonen(指揮者)

同氏へは、2012年11月28日より貸与を開始し、2014年7月25日(貸与期間1年8ヶ月)をもって貸与を終了した。

2. 貸与者 大谷康子(東京在住)
貸与推薦者 広上淳一(指揮者)
福本ともみ(サントリーホール支配人)
貸与期間 2014年12月16日～2015年6月15日
当該楽器を使用しての演奏 合計30回(聴衆約24,300名)
演奏活動40周年記念のため。当財団の助成事業(後述)に出演した。

⑨ Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”

貸与者 Svetlin Roussev (フランス・パリ在住)
貸与推薦者 Myung-Whun Chung (指揮者)
Kyung-Wha Chung (ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計26回(聴衆約16,900名)

2012年1月15日より“Joachim”を短期で貸与したが、2012年2月8日に当該楽器に変更した。2015年8月31日まで(貸与期間3年7ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑩ Stradivarius 1714年製 Violin “Dolphin”

貸与者 諏訪内晶子(フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Charles Dutoit(指揮者)

徳永二男(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 39 回(聴衆約 54,300 名)

2000 年 8 月 11 日より貸与しており、2015 年 8 月 31 日まで(貸与期間 15 年)貸与契約を結んだ。

⑪ Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”

貸与者 Ray Chen(アメリカ・フィラデルフィア在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 56 回(聴衆約 68,200 名)

同氏は 2009 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を 2009 年 6 月 2 日から 2010 年 9 月 8 日まで貸与(貸与期間 1 年 3 ヶ月)した。その後、2012 年 4 月 11 日より Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”を貸与していたが、2014 年 6 月 19 日に当該楽器に変更した。2015 年 8 月 31 日まで(貸与期間 3 年 5 ヶ月、通算貸与期間 4 年 8 ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の主催コンサート(後述)に出演した。

⑫ Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”

貸与者 Arabella Miho Steinbacher(ドイツ・ミュンヘン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

Anne-Sophie Mutter(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 52 回(聴衆約 81,700 名)

2005 年 5 月 5 日より 1736 年製 Stradivarius Violin “Muntz ”貸与していたが、2006 年 9 月 4 日より当該楽器に変更している。2015 年 8 月 31 日まで(貸与期間 9 年、通算期間 10 年 4 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑬ Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”

貸与者 Alina Pogostkina(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Sakari Oramo(指揮者)

Thomas Hengelbrock(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 64 回(聴衆約 30,200 名)

2013 年 2 月 28 日より貸与を開始し、2015 年 8 月 31 日(貸与期間 2 年 6 ヶ月)まで貸与契約を結んだ。

⑭ Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”

貸与者 五嶋 龍(アメリカ・ニューヨーク在住)

貸与推薦者 Hanna Lachert(ヴァイオリニスト)

建部洋子(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 23 回(聴衆約 28,800 名)

2013 年 3 月 7 日より短期貸与を開始し、2013 年開催の楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認された。2015 年 8 月 31 日(貸与期間 2 年 6 ヶ月)まで貸与契約を結んだ。当財団主催のコンサート(後述)に出演した。

⑮ Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”

1. 貸与者 渡辺玲子(東京及びニューヨーク在住)

貸与推薦者 原田幸一郎(ヴァイオリニスト)

徳永二男(ヴァイオリニスト)

- 貸与期間 2014年4月1日～2014年10月8日
 当該楽器を使用しての演奏 合計8回(聴衆約5,400名)
2. 貸与者 Radoslaw Szulc(ドイツ・ミュンヘン在住)
 貸与推薦者 Mariss Jansons(指揮者)
 Julia Fischer(ヴァイオリニスト)
- 貸与期間 2014年12月8日～2015年5月31日
 当該楽器を使用しての演奏 合計3回(聴衆約4,200名)
- ⑯ Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”
 貸与者 Yuki Manuela Janke(ドイツ・ドレスデン在住)
 貸与推薦者 外山雄三(指揮者、作曲家)
 Julia Fischer(ヴァイオリニスト、フランクフルト音楽大学教授)
 当該楽器を使用しての演奏回数 合計29回(聴衆約14,900名)
 2007年11月3日より貸与しており、2015年8月31日まで(貸与期間7年10ヶ月)
 貸与契約を結んだ。当財団協力のコンサート及び助成事業(後述)に出演した。
- ⑰ Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”
 貸与者 Pablo Ferrández(スペイン・トレドネス在住)
 貸与推薦者 Frans Helmerson(チェリスト)
 Lluís Claret(チェリスト)
 Paloma O'Shea(ソフィア王妃高等音楽院学長)
 当該楽器を使用しての演奏 合計32回(聴衆約19,800名)
 2013年開催の楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され、2014年1月17日より
 貸与を開始した。2015年8月31日(貸与期間1年8ヶ月)まで貸与契約を結んだ。
 当財団の演奏会(後述)に出演した。
- ⑱ Stradivarius 1730年製 Cello “Feuermann”
 貸与者 石坂団十郎(ドイツ・ベルリン在住)
 貸与推薦者 Daniel Barenboim(ピアニスト、指揮者)
 Krzysztof Penderecki(作曲家、指揮者)
 当該楽器を使用しての演奏 合計42回(聴衆約21,000名)
 2004年1月29日よりStradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”を貸与していた
 が、2014年1月10日より当該楽器に変更した。2015年8月31日(貸与期間1年8
 ヶ月、通算期間11年7ヶ月)まで貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演
 した。
- ⑲ Guarneri del Gesù 1736年製 Violin “Muntz”
 貸与者 渡辺玲子(東京及びニューヨーク在住)
 貸与推薦者 原田幸一郎(ヴァイオリニスト)
 徳永二男(ヴァイオリニスト)
 貸与期間 2014年10月28日～2015年3月31日
 当該楽器を使用しての演奏 合計12回(聴衆約7,900名)
 財団事業協力のため貸与しているが、当財団主催の「青少年のためのレクチャーコン
 サート」(後述)に3回出演した。
- ⑳ Guarneri del Gesù 1740年製 Violin “Ysaye”
 貸与者 Sergey Khachatryan(ドイツ・エッシュボルン在住)

当該楽器を使用しての演奏回数 合計 30 回(聴衆約 41,900 名)

同氏は2005年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、2009年4月まで Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を貸与(3年10ヶ月)した。引き続きの貸与の申請があり Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”を2009年4月7日より2010年10月27日まで貸与。その後、当該楽器へ変更し2015年8月31日(貸与期間4年7ヶ月、通算貸与期間10年1ヶ月)まで貸与契約を結んだ。

3. 演奏会の開催

楽器貸与事業の広報を目的とした演奏会を開催した。各演奏会とも実録CD等を作成し、関係者へ配布するとともにクラシック音楽専門チャンネルで放送し、事業の周知に努めた。本年度は読売交響楽団とのチャリティ・コンサートを含め、下記のとおり9公演を行った。そのうちチャリティ・コンサートが3公演、レクチャーコンサートが3公演であった。

1) 演奏会の名称

「ストラディヴァリウスの響き」

子どもの心と身体の成長支援ネットワークのためのチャリティー・コンサート

出演	Ray Chen	Stradivarius 1715 Violin “Joachim”使用
	石坂団十郎	Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”使用
	江口 玲	ピアノ
日時	2014年6月24日(火)19:00	
場所	よみうり大手町ホール大ホール(東京) 501席	
主催	読売新聞社	
特別協力	日本音楽財団	
協力	日本財団	
チケット販売	全席 6,000円	
曲目	サン＝サーンス:「序奏とロンド・カプリチオーソ」イ短調 作品 28 レスピーギ:「アダージョと変奏」作品 133(チェロとピアノ版) オネゲル:ヴァイオリンとチェロのためのソナチネ ホ短調 作品 80 ヘンデル=ハルヴォルセン編:パッサカリア ト短調(ヴァイオリンとチェロ版) チャイコフスキー:ピアノ三重奏曲 イ短調 作品 50 「偉大な芸術家の思い出に」	
来場者数	約 460名	

2) 演奏会の名称

「ストラディヴァリウスの響き」

子どもの心と身体の成長支援ネットワークのためのチャリティー・コンサート

出演	指揮: 円光寺雅彦	オーケストラ: 読売日本交響楽団
	ソリスト: Ray Chen	Stradivarius 1715 Violin “Joachim”使用
	石坂団十郎	Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”使用
日時	2014年6月25日(水)19:00	
場所	サントリーホール(東京) 2006席	
主催	読売新聞社	

特別協力 日本音楽財団
 協 力 日本財団
 チケット販売 S 席 8,000 円、A 席 6,000 円、P 席 4,000 円
 曲 目 オール・チャイコフスキー・プログラム
 「エフゲニー・オネーギン」よりポロネーズ 作品 24
 「懐かしい土地の思い出」(A. グラズノフ編)より
 第 3 楽章“メロディー”、第 2 楽章“スケルツォ”
 ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 作品 33
 アンダンテ・カンタービレ(チェロと弦楽オーケストラのための)
 「6 つの小品」より“ノクターン” 作品 19-4(チェロ、オーケストラ版)
 ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 35
 来場者数 約 1740 名
 寄付先 上記 1)、2) の 2 公演から「子どもの心と身体の成長支援ネットワーク」
 へ主催である読売新聞を通じて 1,000,000 円を寄付した。
 寄付については、2014 年 12 月 21 日付け読売新聞(都内版朝刊)に広報
 された。
 その他 6 月 25 日のコンサートには読売新聞を通じて視覚障害者等も招待した。

- 3) 演奏会の名称 「第 12 回いずみホール“夢コンサート”」
 障害者とその家族やボランティアの方々を無料で招待するコンサートに下記楽器貸与者の出演協力をした。
- 出 演 指揮：藤岡幸夫
 オーケストラ：関西フィルハーモニー管弦楽団
 ソリスト：Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用
 日 時 2014 年 9 月 26 日(金)14:00
 場 所 いずみホール(大阪) 821 席(全席招待)
 主 催 一般財団法人住友生命社会福祉事業団
 特別協力 日本音楽財団
 協 力 日本財団
 招待先団体 大阪市社会福祉協議会、日本ライトハウス、大阪ボランティア協会、
 歯車の会、スミセイハーモニー、全国重度障害者雇用事業所協会
 曲 目 ベートーヴェン：「ロマンス」へ長調 Op.50
 モンティ：チャールダーシュ
 来場者数 約 600 名(盲導犬 15 頭、車いす 17 台)

- 4) 演奏会の名称
 ストラディヴァリ製作“パガニーニ・クアルテット”の音色
 ～ハーゲン・クアルテット コンサート～

出 演 Hagen Quartet Stradivarius “Paganini Quartet”使用
 Lukas Hagen Stradivarius 1727 Violin “Paganini” 使用
 Rainer Schmidt Stradivarius 1680 Violin “Paganini” 使用
 Veronika Hagen Stradivarius 1731 Viola “Paganini” 使用

Clemens Hagen Stradivarius 1736 Cello "Paganini" 使用
日 時 2014年9月29日(月)レセプション 18:00 演奏会 19:00～
場 所 浜離宮朝日ホール(東京) 550席(全席招待)
主 催 日本音楽財団
助 成 日本財団
曲 目 モーツァルト:弦楽四重奏曲 第17番 変ロ長調 K.458
ハイドン四重奏曲第4番「狩」
弦楽四重奏曲 第22番 変ロ長調 K.589
プロイセン王四重奏曲 第2番
来場者数 約450名

5) 演奏会の名称

ストラディヴァリウス チャリティー・コンサート 五嶋 龍 ヴァイオリン・リサイタル
出 演 五嶋 龍 Stradivarius 1722 Violin "Jupiter" 使用
鳥羽重矢子 ピアノ
日 時 2014年11月20日(木)18:30
場 所 郷の音ホール(兵庫県三田市) 974席
主 催 公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団
社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会
後 援 三田市、三田市教育委員会、三田市音楽協会
特別協力 日本音楽財団
協 力 日本財団
チケット販売 一般2,000円(当日2,500円)、
学生1,000円(当日1,500円)全席自由
曲 目 クライスラー:愛の喜び
ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第10番 ト長調 Op.96
エルンスト:夏の名残りのバラ
マスネ:タイスの「瞑想曲」
サラサーテ:ツイゴイネルワイゼン Op.20
寄 付 先 子ども発達支援センター・さんだ
チケット売上全額1,878,000円を寄付した。
来場者数 約900名

6) 演奏会の名称 パブロ・フェランデス チェロ・リサイタル

出 演 Pablo Ferrández Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford" 使用
林 絵里 ピアノ
日 時 2014年12月11日(木)レセプション 18:00 演奏会 19:00
場 所 浜離宮朝日ホール(東京) 550席(全席招待)
主 催 日本音楽財団
助 成 日本財団
曲 目 ブルッフ:コル・ニドライ Op.47
ショスタコーヴィッチ:チェロ・ソナタ ニ短調 Op.40

ロベルト・シューマン: 幻想小曲 Op.73

来場者数 約 450 名

本年度は、レクチャーコンサートを下記 3 都市で実施した。

- 7) 演奏会の名称 青少年のためのレクチャーコンサート「名曲への誘い」
- 出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz” 使用
江口 玲 ピアノ
- 日 時 2014 年 11 月 7 日(金) 14:00
- 場 所 アトリオン音楽ホール(秋田県秋田市) 700 席(全席招待)
- 主 催 日本音楽財団、アトリオン音楽ホール
- 協 力 日本財団
- 来場者数 約 600 名
- CD 配布 当日の実録 CD を参加した学生に配布した。
- 8) 演奏会の名称 青少年のためのレクチャーコンサート「音楽の楽しみ」
- 出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz” 使用
江口 玲 ピアノ
- 日 時 2014 年 12 月 14 日(日) 14:00
- 場 所 鶴来(つるぎ)総合文化会館クレイン(石川県白山市) 800 席(全席招待)
- 主 催 白山市文化協会
- 特別協力 日本音楽財団
- 協 力 日本財団
- 来場者数 約 500 名
- CD 配布 当日と同じプログラムの実録 CD を来場者に配布した。
- 9) 演奏会の名称 子どもたちのためのレクチャーコンサート「音楽の楽しみ」
- 出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz” 使用
江口 玲 ピアノ
- 日 時 2015 年 2 月 14 日(土) 15:00
- 場 所 北九州市響ホール 720 席(全席招待)
- 主 催 公益財団法人北九州市芸術文化振興財団
- 共 催 北九州市、北九州市教育委員会
- 特別協力 日本音楽財団
- 協 力 日本財団
- 来場者数 約 500 名
- CD 配布 当日と同じプログラムの実録 CD を来場者に配布した。

4. 音楽文化振興・普及のための助成

助成事業の募集は、外部有識者で構成される事業運営委員会で決定されたテーマ(柱)に沿ってホームページで行っている。また、事業の決定についても同委員会の審議を経て決定している。(本年度事業運営委員名簿は、巻末別表 3)

本年度は、昨年度同様、楽器貸与者による財団主催の演奏会を東京以外の地域で

積極的に開催するために、それぞれの地域にあった集客ができるパートナー(共催者)を育成することを目的とする柱「パートナーの育成」を中心に募集したところ、11事業の申請があった。

- 第1回事業運営委員会開催 4月1日付書面により2事業
 - 第2回事業運営委員会開催 5月9日(金)14:00~16:00 1事業
 - 第3回事業運営委員会開催 7月4日付書面により1事業
- 上記委員会で決定した4事業については、下記のとおりである。
(助成額合計 5,728,273円)

「パートナー育成」4事業(①~④)

当財団が東京以外の地域で演奏会を開催した際の集客は、非常に難しいのが現状である。今回支援したどの事業も当初期待した成果が出ている。今回培った協力関係で、今後、音楽助成事業としてだけでなく、演奏会事業として当財団と演奏会を共催していくことが期待できた。

①第3回ガダニーニ・コンクール

主催 ガダニーニ・コンクール実行委員会
日時 2014年4月5日(土)
場所 トップアンホール(東京)
助成額 1,000,000円

②兵庫芸術文化センター管弦楽団 第71回定期演奏会

主催 兵庫県立芸術文化センター
日時 2014年6月13日(金)、14日(土)、15日(日)
場所 兵庫県立芸術文化センター
出演 兵庫芸術文化センター管弦楽団
Stefan Sanderling(指揮)
Yuki Maunela Janke(Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”使用)
助成額 1,500,000円

③The Castleton Festival 2014 “Madama Butterfly”

主催 The Chateauville Foundation(USA)
日時 2014年7月6日(日)
場所 Castleton Farm ヴァージニア州 USA
助成額 1,428,273円(13,860USドル相当額)

④オーケストラの日 2015

主催 (公社)日本オーケストラ連盟
日時 2015年3月31日(火) 19:00開演
場所 文京シビックホール(東京)(1,802席)
出演 オーケストラの日祝祭管弦楽団
円光寺雅彦(指揮)
大谷康子(Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”使用)
助成額 1,800,000円

5. 広報活動

日本音楽財団の事業活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

- (1) 財団冊子(日本語、英語併記)を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。
- (2) ホームページ(日本語、英語)にて、財団の事業活動全般について紹介している。
- (3) 財団主催演奏会の CD、DVD を作成し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布している。本年度作成した CD、DVD は以下のとおり。
 - 1) ストラディヴァリウスの響き CD、DVD (2014 年 6 月 24 日、6 月 25 日東京収録)
 - 2) Hagen Quartet・コンサート CD (2014 年 9 月 29 日東京収録)
 - 3) ストラディヴァリウス・チャリティ・コンサート CD (2014 年 11 月 20 日三田収録)
 - 4) Pablo Ferrández チェロ・リサイタル CD (2014 年 12 月 11 日東京収録)
 - 5) 青少年のためのレクチャーコンサート CD (2014 年 11 月 7 日秋田収録)
- (4) 楽器貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。
 - 1) 貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムにおいて、貸与楽器の名称並びに当該楽器が日本音楽財団から貸与されていることの実を周知・広報する。
 - 2) 貸与楽器による演奏が、CD、DVD 等の形で制作される時は、貸与者は、貸与楽器の名称並びに当該楽器が日本音楽財団から貸与されていることの実を当該制作物に明確に表示する。
 - 3) 貸与者は、年に 1 度、3 月末日に前年 4 月からの演奏会(開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等)並びに CD、DVD 制作に関する活動内容報告書を日本音楽財団に提出する。

楽器貸与者が本年度中にリリースした CD 等は以下のとおりである。

- ① CD: Ray Chen “Mozart Violin Concertos K216 & 218 Sonata K305”
(2014 年 4 月)
- ② CD: Arabella Miho Steinbacher “Mozart: Violin Concertos Nos. 3,4&5”
(2014 年 5 月)
- ③ CD: Arabella Miho Steinbacher “Sonatas for Violin and Piano by
César Franck and Richard Strauss” (2014 年 9 月)
- ④ DVD: Arabella Miho Steinbacher Documentary
"Music of Hope" Arabella Steinbacher in Japan (2015 年 3 月)

- (5) 衛星デジタルラジオ局並びに衛星デジタルテレビの協力を得て、当財団主催の国内外の演奏会の実録 CD、DVD を放送し、不特定多数の方々にストラディヴァリウスの華麗な響きを楽しんでもらい、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。特に普段なかなかストラディヴァリウスの演奏に触れる機会のない地方のクラシックファンには、大変喜ばれているとの報告を受けている。2014 年度における放送内容は下記のとおりである。

1) 衛星デジタルラジオ MUSICBIRD THE CLASSIC (7ch)

① 2014 年 4 月 27 日、再放送 5 月 3 日

「Veronika Eberle Violin Recital」 (浜離宮朝日ホール、2013 年 7 月 17 日収録)

「Alina Pogostkina ストラディヴァリウス・チャリティ・コンサート」

(郷の音ホール、2013 年 8 月 8 日収録)

- 「渡辺玲子 音楽の楽しみ～青少年のためのレクチャーコンサート」
(アトリオン音楽ホール、2013年11月8日収録)
- 「Yuki Manuela Janke Violin Recital」 (トッパンホール、2013年10月3日収録)
- ②2015年1月31日、再放送2月11日
「THE CLASSIC SPECIAL ストラディヴァリウスの響き」Vol.1
レイ・チェン(Vn) & 石坂団十郎(Vc)の室内楽
～子どもの心と身体の成長支援ネットワークのためのチャリティーコンサート～
(よみうり大手町ホール 2014年6月24日収録)
- ③2015年2月1日、再放送2月11日
「THE CLASSIC SPECIAL ストラディヴァリウスの響き」Vol.2
レイ・チェン(Vn) & 石坂団十郎(Vc)のチャイコフスキー・コンチェルト
～子どもの心と身体の成長支援ネットワークのためのチャリティーコンサート～
(サントリーホール 2014年6月25日収録)
- 2)衛星デジタルテレビ クラシカ・ジャパン×スカパー！
放送局 BS スカパー
「ストラディヴァリウス・コンサート2012」(サントリーホール、2012年9月10日)
放送月日
2014年6月19日、20日、23日、24日、25日
2014年12月21日、22日、25日
- 3)あさがおテレビ(石川県白山市のケーブルテレビ)
青少年のためのレクチャーコンサート「音楽の楽しみ」
(鶴来総合文化会館クレイン、2014年12月14日収録)
放送月日 2015年2月1日、8日、15日、22日
- (6)音楽雑誌、新聞、その他マスメディアの取材要請、財団保有楽器の写真提供要請
に応え、財団の活動の周知・広報を図っている。2014年度における主な掲載記事の
内容は以下のとおりである。
- 1)読売新聞 2014年5月16日付
2014年6月24日、25日開催「ストラディヴァリウスの響き」関連インタビュー記事
 - 2)The Japan Times 2014年6月6日、13日付
2014年6月24日、25日開催「ストラディヴァリウスの響き」関連インタビュー記事
 - 3)毎日新聞 2014年10月22日付
2014年9月26日開催「第12回いずみホール”夢コンサート“」関連インタビュー
記事
 - 4)神戸新聞 2014年11月20日付
2014年11月20日日開催「ストラディヴァリウス・チャリティーコンサート」関連インタ
ビュー記事
 - 5)その他
- (7)2004年度から2013年度の財団史を作成し、過去10年間の財団の活動をWeb上
で公開した。

Ⅲ 総 務

1. 役員 の 異 動

2014年6月27日開催の定時評議員会にて、任期満了による理事の改選を行った。岩淵龍太郎氏が任期満了により退任し、その他の14名は再任された。年度末現在の理事・監事の名簿は巻末別紙1、評議員の名簿は巻末別紙2のとおりである。

2. 理 事 会

本年度は、理事会を下記のとおり3回開催した。

2014年度第1回理事会

開催日 2014年6月6日(金) 11:00～12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

議決事項

第1号議案 楽器保全引当資金規程の制定について

第2号議案 2013年度事業報告及び決算について

第3号議案 理事の推薦について

第4号議案 評議員会の招集について

2014年度第2回理事会

開催日 2014年6月27日(金) 13:30～13:40

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

議決事項

第1号議案 会長(代表理事)及び理事長(代表理事)、
常務理事(業務執行理事)の選任について

第2号議案 評議員会の招集について

2014年度第3回理事会

開催日 2015年3月10日(火) 11:00～12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

議決事項

第1号議案 2015年度事業計画及び収支予算について

付帯決議案 事業計画の若干の字句の修等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は、
会長に一任する

第2号議案 評議員会の招集について

3. 評 議 員 会

本年度は、評議員会を下記のとおり2回開催した。

2014 年度定時評議員会

開催日 2014 年 6 月 27 日(金) 11:00~12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37 階

議決事項

第 1 号議案 2013 年度事業報告及び決算について

第 2 号議案 理事の任期満了に伴う改選について

2014 年度臨時評議員会

開催日 2015 年 3 月 10 日(火) 13:20~14:10

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37 階

議決事項

第 1 号議案 2015 年度事業計画及び収支予算について

付帯決議案 事業計画の若干の字句の修等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は、
会長に一任する

4. 登 記 事 項

2014 年 7 月 10 日 理事登記

(代表理事 2 名、理事 14 名の登記、理事 1 名の削除)

5. 主務大臣(内閣府)への届出等

2014 年 6 月 27 日 2013 年度事業報告及び決算報告書届

2014 年 7 月 16 日 変更届 理事 1 名減(理事数 14 名)

2015 年 3 月 19 日 2015 年度事業計画及び収支予算書届

6. 外部監査の実施

本年度も永和監査法人に監査を委託し、期中監査を 2015 年 3 月に実施し、期末監査を 2015 年 5 月に実施した。

7. 事 務 局

事務所を東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5 階に置き、業務を遂行した。
年度末現在の事務局役職員数は常勤役員 2 名、職員 6 名、計 8 名である。

別紙 1

公益財団法人日本音楽財団理事・監事名簿

(2015年3月31日現在、敬称略)

会 長	小 林 實	(一財)地域活性化センター顧問
理 事 長	江頭(塩見)和子	常 勤
常務理事	檜 林 欣 也	常 勤
(以下理事、監事はアルファベット順)		
理 事	海 老 澤 敏	尚美学園大学大学院特別専任教授
理 事	福 田 博	西村あさひ法律事務所顧問弁護士
理 事	福 井 俊 彦	元日本銀行総裁 (一財)キヤノングローバル戦略研究所理事長
理 事	長 谷 川 和 年	世界平和研究所監事及び研究顧問 元駐オーストリア特命全権大使
理 事	畠 山 向 子	(公財)畠山記念館館長
理 事	日 野 原 重 明	(一財)聖路加国際メディカルセンター理事長
理 事	児 玉 幸 治	(一財)機械システム振興協会会長
理 事	松 木 康 夫	新赤坂クリニック名誉院長
理 事	新 田 勇	元(株)東芝専務取締役
理 事	斉 藤 邦 彦	元駐アメリカ合衆国特命全権大使 学校法人北鎌倉女子学園理事長
理 事	佐 治 俊 彦	毎日新聞社社友
監 事	垣 見 隆	弁護士
監 事	山 内 悦 嗣	公認会計士

公益財団法人日本音楽財団評議員名簿

(2015年3月31日現在、敬称略)

(アルファベット順)

相川直樹	慶応義塾大学名誉教授
荒蒔康一郎	元キリンホールディングス(株)会長
海老沢勝二	学校法人大隈記念早稲田佐賀学園副理事長
藤井宏昭	国際交流基金顧問、森アーツセンター理事長
木全ミツ	認定NPO法人女子教育奨励会理事長
清原武彦	産経新聞社取締役会長
小林道夫	ピアニスト、チェンバロ奏者
前和男	東京音楽大学顧問
奈良久彌	(株)三菱総合研究所特別顧問
尾形武寿	(公財)日本財団理事長
須磨久善	心臓外科医
丹治誠	元日本銀行理事

事業委員名簿

(2015年3月31日現在、敬称略)

楽器貸与委員 (欧州・米国・アジアの代表で構成)

委員長 Simon Rattle	指揮者
(以下委員はアルファベット順)	
委員 Marta Casals Istomin	元マンハッタン音楽院学長
委員 Ana Chumachenco	ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授
委員 Kyung-Wha Chung	ヴァイオリニスト、ジュリアード音楽院教授
委員 海老澤 敏	当財団理事
委員 Yvan de Launoit	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール副理事長
委員 Curtis Price	オックスフォード大学ニュー・カレッジ学長
委員 江頭(塩見)和子	当財団理事長

2014年度事業運営委員

委員長 鹿海 信也	元文化庁文化部長
(以下委員はアルファベット順)	
委員 藤掛 廣幸	作曲家
委員 岩井 宏之	音楽評論家
委員 川本 統脩	洗足学園音楽大学講師
委員 齋藤 一郎	東京藝術大学名誉教授
委員 江頭(塩見)和子	当財団理事長

財団保有楽器の概要

(2015年3月31日現在)

Stradivarius "Paganini Quartet"

アントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)製作による楽器で構成されたクアルテットは、世界で6セットの存在が知られている。このクアルテットはその1つであり、19世紀の伝説的なヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニ(1782～1840)が所有していたことでも有名である。

日本音楽財団は1994年2月にアメリカ・ワシントン D.C.のコーコラン美術館よりこのクアルテットを購入した。同美術館にこのクアルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意志を受け継ぎ、当財団は4挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

1700年製 Stradivarius Violin "Dragonetti"

このヴァイオリンはネックの部分までも製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。著名なコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763～1846)によって大切に所有されていたことから現在この名前と呼ばれている。日本音楽財団の購入直前には、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ペーター・ツィンマーマン(1965～)によって演奏されていた。

2002年6月に当財団が購入したものである。

1702年製 Stradivarius Violin "Lord Newlands"

イギリスのニューランズ卿(1890～1929)によって生涯大切にされていたため、現在この名前と呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのヒル商会が、1973年にバースの古楽器名器展にて、当時のヒル商会を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン(1920～2001)は、自身が所有しているガールネリ・デル・ジェスと同じパワーを感じると語ったという。

2002年6月に当財団が購入したものである。

1708年製 Stradivarius Violin "Huggins"

イギリスの天文学者であるウィリアム・ハギンス卿(1824～1910)が、1880年頃ウィーンの皇帝からこの楽器を購入し、所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。日本音楽財団は1997年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次のコンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

1709 年製 Stradivarius Violin "Engleman"

このヴァイオリンは、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約 150 年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で収集家のエフレイム・エンゲルマンが所有していたため、現在はこの名前で親しまれている。

1996 年 5 月に当財団が購入したものである。

1710 年製 Stradivarius Violin "Camposelice"

このヴァイオリンは、1880 年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。1937 年にはクレモナ古楽器名器展にキューネ博士のコレクションとして展示された。日本音楽財団が購入する前は、30 年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていたため、楽器の内側の状態はオリジナルのままである。

2004 年 9 月に当財団が購入したものである。

1714 年製 Stradivarius Violin "Dolphin"

1800 年代後半にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板のニスが優美な"イルカ"を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715 年製「アラード」、1716 年製「メシア」に並ぶ世界 3 大ストラディヴァリウスの 1 つと呼ばれている。また、巨匠ヤッシャ・ハイフェッツ（1901～1987）が愛用していたことでも知られている。

2000 年 2 月に当財団が購入したものである。

1715 年製 Stradivarius Violin "Joachim"

この楽器は、有名なハンガリーのヴァイオリン奏者、ヨーゼフ・ヨアヒム（1831～1907）が所有していたストラディヴァリウス 1715 年製ヴァイオリン 5 挺の内のひとつである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・アラニに遺贈されたことから「ヨアヒム=アラニ」という名前でも知られている。日本音楽財団が購入するまでは、アラニ家によって代々受け継がれてきた。

2000 年 9 月に当財団が購入したものである。

1716 年製 Stradivarius Violin "Booth"

1855 年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女はヴァイオリンの才能を発揮した 2 人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクアルテットを形成しようと試み、この楽器を購入した。1931 年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミシャ・ミシャコフ（1896～1981）の手にわたり、1961 年にはニューヨークのホッティンガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999 年 1 月に当財団が購入したものである。

1717 年製 Stradivarius Violin "Sasserno"

1845 年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことからこの名前と呼ばれている。1894 年にはヴァイオリン奏者のオットー・ペイニガーが所有し、その後にイギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906 年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズが所有し、それ以後 90 年以上にわたり同家で大切に保管されていたため、製作時のままのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999 年 5 月に当財団が購入したものである。

1722 年製 Stradivarius Violin "Jupiter"

このヴァイオリンは、1800 年頃にイギリスの偉大なコレクター、ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナル・ニスも全体に十分残っている。近年では、日本を代表するヴァイオリン奏者のひとり、五嶋みどり(1971～)が演奏していた。

1998 年 5 月に当財団が購入したものである。

1725 年製 Stradivarius Violin "Wilhelmj"

1866 年以降、約 30 年間この楽器を所有していた著名なドイツのヴァイオリン奏者、オウグスト・ウィルヘルミ(1845～1908)に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者として華のあるうちに引退したい」との理由で、50 代の若さで楽器を手放したという。

2001 年 6 月に当財団が購入したものである。

1736 年製 Stradivarius Violin "Muntz"

楽器内側に貼られたラベルにはストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92(92 歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスが楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874 年以降、英国の収集家ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737 年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器のひとつとして知られている。

1997 年 7 月に当財団が購入したものである。

1696 年製 Stradivarius Cello "Lord Aylesford"

アマチュア奏者として有名であったイギリスのアイレスフォード卿が 1780 年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716～1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約 100 年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946 年にはアメリカ・フィラデルフィア在住の世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903～1976)の手に渡り、1950 年から 1965 年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924～2013)によって演奏会や 35 枚のレコーディング

のために使用された。

2003年6月に当財団が購入したものである。

1730年製 Stradivarius Cello "Feuermann"

アントニオ・ストラディヴァリが製作したうち、現存するチェロは、約50挺といわれている。「フォイアマン」は普通のチェロと比べ、楽器本体の部分が細長い点の特徴である。1934年から世界的に著名なチェロ奏者、エマニュエル・フォイアマン(1902～1942)が長年にわたり演奏活動に使用したことから、この名前と呼ばれている。フォイアマンは齋藤秀雄が師事したこともあり、日本でもよく知られている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

1736年製 Guarneri del Gesù Violin "Muntz"

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・グアルネリ(グアルネリ・デル・ジェス)(1698～1744)が製作したヴァイオリン。イギリスの収集家ムンツが一時期所有していたことから、この名前で親しまれている。日本音楽財団はストラディヴァリとデル・ジェスによって同じ1736年に製作された2挺の「ムンツ」を保有しており、それぞれの楽器の音色の特色を聴き比べるために、両方の楽器を使用したコンサートを開催している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

1740年製 Guarneri del Gesù Violin "Ysaye"

この楽器はベルギーの国家的ヴァイオリン奏者、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ1928」とフランス語で書かれている。イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した名器としても知られ、その後、1965年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり生涯愛用された。この楽器は日本音楽財団が1998年に、スターンから譲り受けたものである。

1998年3月に当財団が購入したものである。

以上、当財団はストラディヴァリウス・ヴァイオリン 14挺、ストラディヴァリウス・チェロ 3挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ 1挺、グアルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン 2挺の合計20挺の弦楽器を保有している。

楽器名と貸与者一覧

別紙 5

2015年3月31日現在

楽器名	貸与演奏家	貸与開始	備考
(長期貸与)			
	Stradivarius "Paganini Quartet"	Hagen Quartet	
1	Violin 1680	Rainer Schmidt	2013/07/25 ビンネケン(スイス) 在住
2	Violin 1727	Lukas Hagen	2013/07/22 ザルツブルク在住
3	Viola 1731	Veronika Hagen	2013/08/04 ゼーキルヒェン(オーストリア) 在住
4	Cello 1736	Clemens Hagen	2013/07/18 ザルツブルク在住
5	Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti"	Veronika Eberle	2009/05/11 ベルリン在住
6	Stradivarius 1702 Violin "Lord Newlands"	Suyoen Kim	2015/01/20 ベルリン在住
7	Stradivarius 1708 Violin "Huggins"	Andrey Baranov	2012/05/29 ローザンヌ(スイス) 在住 2012年エリザベートコンクール優勝者
8	Stradivarius 1710 Violin "Camposelice"	Svetlin Roussev	2012/01/15 ハリ在住 2012/1/15-2/8 Joachim 貸与 2012/2/8 よりCamposelice 貸与
9	Stradivarius 1714 Violin "Dolphin"	諏訪内晶子	2000/08/11 ハリ在住
10	Stradivarius 1715 Violin "Joachim"	Ray Chen	2009/06/02 フライデルフィア 在住 2009年エリザベートコンクール優勝Huggins 貸与 (2009/6/2-2010/9/8) 2012/4/11 よりLord Newlands 貸与 2014/6/19 よりJoachim 貸与
11	Stradivarius 1716 Violin "Booth"	Arabella Miho Steinbacher	2005/05/06 ミュンヘン 在住 2005/5/6よりStrad. Muntz 貸与 2006/9/4よりBooth 貸与
12	Stradivarius 1717 Violin "Sasserno"	Alina Pogostkina	2013/02/28 ベルリン 在住
13	Stradivarius 1722 Violin "Jupiter"	五嶋 龍	2013/03/07 ニューヨーク 在住
14	Stradivarius 1736 Violin "Muntz"	Yuki Manuela Janke	2007/11/02 ドレスデン(ドイツ) 在住
15	Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford"	Pablo Ferrández	2014/01/17 トレドネス(スペイン) 在住
16	Stradivarius 1730 Cello "Feuermann"	石坂 団十郎	2004/01/29 ベルリン 在住 2004/1/29よりLord Aylesford 貸与 2014/1/10よりFeuerman 貸与
17	Guarneri del Gesu 1740 Violin "Ysaye"	Sergey Khachatryan	2005/05/31 エッシュホルン(ドイツ) 在住 2005年エリザベートコンクール優勝Huggins 貸与 2009/4/7よりLord Newlands 貸与 2010/10/27よりYsaye 貸与
(短期貸与)			
18	Stradivarius 1709 Violin "Engleman"	大谷 康子	2014/12/16 東京 在住
19	Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj"	Radoslaw Szulc	2014/12/08 ミュンヘン 在住
20	Guarneri del Gesu 1736 Violin "Muntz"	渡辺 玲子	2014/10/28 東京、ニューヨーク 在住

長期貸与17挺、短期貸与3挺 現在保有楽器 計20挺

上記のとおり2014(平成26)年度事業報告及び附属明細書を提出いたします。

2015(平成27)年6月8日

公益財団法人 日本音楽財団

会 長 小 林 實 (印)

理 事 長 江 頭 (塩 見) 和 子 (印)

2014(平成26)年度事業報告及び附属明細書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2015(平成27)年6月8日

監 事 垣 見 隆 (印)

監 事 山 内 悦 嗣 (印)